

8. 今後の展開

市民・民間事業者等と行政がそれぞれの役割分担に応じて連携を図りながら取り組みます。施策の取組みについては、短・中・長期ごとに調整し、見直すこととします。

基本方針	施策	想定事業 (■●□…リーディングプロジェクトに関連する事業)	実施主体						取組期間					
			民間事業者	関係団体	市民	大学・研究機関	行政			短期 (概ね1~3年)	中期 (概ね3~5年)	長期 (概ね5~10年)		
							国	県	市					
豊かな自然・歴史 文化をつなぐ	観光資源の発掘・活用・磨き上げ 自然・歴史文化など多様性に富んだ観光資源を発掘し、活かす。 地域のブランドづくり 地域の魅力をトータルに感じられる共通ブランドを創出する。	<input type="checkbox"/> 歴史・文化資源のフル活用	○	○		○								
		<input type="checkbox"/> 伝統芸能・技術の活用	○	○		○								
		<input type="checkbox"/> フットパスの導入(まち歩き観光)	○	○	○	○								
		<input type="checkbox"/> 特産品の開発	○	○	○	○								
		<input type="checkbox"/> 健康食品開発	○	○		○								
		<input type="checkbox"/> ロゴマークの設定	○	○		○								
		<input type="checkbox"/> グルメガイド	○	○										
		<input checked="" type="checkbox"/> オープンカフェ・ショットバー	○	○			○	○	○					
		<input type="checkbox"/> 水上レストラン	○	○			○	○	○					
		<input checked="" type="checkbox"/> 農業交流拠点の整備	○	○			○	○	○					
人とまち・水辺を つなぐ	水辺を活かした魅力づくり 人々が集い、賑わいあふれる水辺空間を創出する。	<input checked="" type="checkbox"/> 休憩施設・観光トイレ	○	○			○	○	○					
		<input type="checkbox"/> リラクゼーション施設	○					○	○					
		<input type="checkbox"/> 舟運等による回遊性の確保	○	○			○	○	○					
		<input type="checkbox"/> スマートモビリティ	○	○			○	○	○					
		<input type="checkbox"/> レンタサイクルの充実	○	○				○	○					
		<input checked="" type="checkbox"/> 水上アクティビティ	○	○			○	○	○					
		<input type="checkbox"/> 大型キャンプ場	○					○	○					
		<input type="checkbox"/> 環境学習		○		○		○	○					
		<input type="checkbox"/> 栈橋・橋りょう・遊歩道の整備		○			○	○	○					
		<input checked="" type="checkbox"/> 桜並木の整備		○			○	○	○					
		<input checked="" type="checkbox"/> 案内サイン・誘導サインの整備					○	○	○					
		人と人をつなぐ	多彩なイベントの展開・観光プランづくり スポーツイベントや各地域の伝統行事など多種多様な観光資源を有機的に結び、地域の回遊性を高め、観光交流の充実を図る。 情報発信力の強化 知名度向上のため、観光情報・交流関連の情報提供の仕組みをつくる。 観光戦略に必要な推進体制の強化 継続して推進していくための担い手の育成や組織を構築する	<input type="checkbox"/> フルマラソン大会	○	○			○	○	○			
				<input type="checkbox"/> レガッタ大会	○	○			○	○	○			
<input type="checkbox"/> トライアスロン	○			○				○	○					
<input type="checkbox"/> ツール・ド・TEGA	○			○			○	○	○					
<input type="checkbox"/> サイクリング・ランニング	○			○					○					
<input type="checkbox"/> モデル観光プランの提案	○			○					○					
<input type="checkbox"/> グルメイベント	○			○	○				○					
<input type="checkbox"/> スタンプラリー	○			○					○					
<input type="checkbox"/> フォトコンテスト	○			○					○					
<input type="checkbox"/> 花火大会	○			○					○					
<input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の収集整理	○			○					○					
<input type="checkbox"/> ICTなどの活用				○					○					
<input checked="" type="checkbox"/> メディアへの情報発信	○			○					○					
<input type="checkbox"/> 映画・TVのロケーションの誘致				○					○					
<input type="checkbox"/> 推進組織の構築							○	○	○					
<input type="checkbox"/> 観光ボランティア等の育成	○			○	○				○					
<input type="checkbox"/> ゆるキャラの活用				○					○					

9. 手賀沼・手賀川独自の『水辺文化』創出に向けて

〔恒常的なにぎわいを支えるための仕組みづくりの推進〕

本報告書は、手賀沼・手賀川独自の景観や自然、水辺に芽生えた文化等を地域共通の資源と見なし、これらを最大限利活用する取り組みについて、国、県、および柏市、印西市、我孫子市が連携し、広域的な視野で取りまとめたものです。今後は、本報告書で提案した取り組みの実現に向け、国・県・各市の各部門と調整を図り、手賀沼・手賀川周辺の全体的な利活用方針の調整や具体的な運営手法、人材の配置、リーディングプロジェクト等の運営主体や費用、期間等について具体化していく必要があります。また、地域内外に向けた情報発信を行うと同時に、次に掲げる市民参加や地域連携の機会を積極的に設けながら、地域の合意形成にも配慮した仕組みづくりと具体的手法を提示し、進めていく必要があります。

●市民参加の機会づくり

手賀沼・手賀川周辺を訪れる市民の方々に地元意識を育んでもらい、地域外の方々にも再び行ってみたい、実際に住んでみたいと思われるよう、上記の仕組みでは積極的に市民参加の機会をつくり、社会実験などを通じた地域の合意形成に配慮します。

●民間事業者等との連携体制の構築

安定した集客とにぎわいを確保するため、積極的に民間事業者等との連携体制を構築します。同時に、河川空間の利活用を多岐に展開する上で、幅広い分野から民間事業者等が集まるよう、仮設販売実験の場などを提供して、参入の可能性を広げる取り組みも進めます。

●地域独自の水辺文化のブランド化と自然環境に配慮したルール作り

手賀沼・手賀川が持つ豊かな自然を最大限利活用したライフスタイル、文化的資源の魅力(=『手賀スタイル』)を積極的に情報発信することでブランド化し、恒常的なにぎわいを確保しながら、自然環境の保全にも配慮した統一的なデザイン指針やルール作りの取組みを進めます。